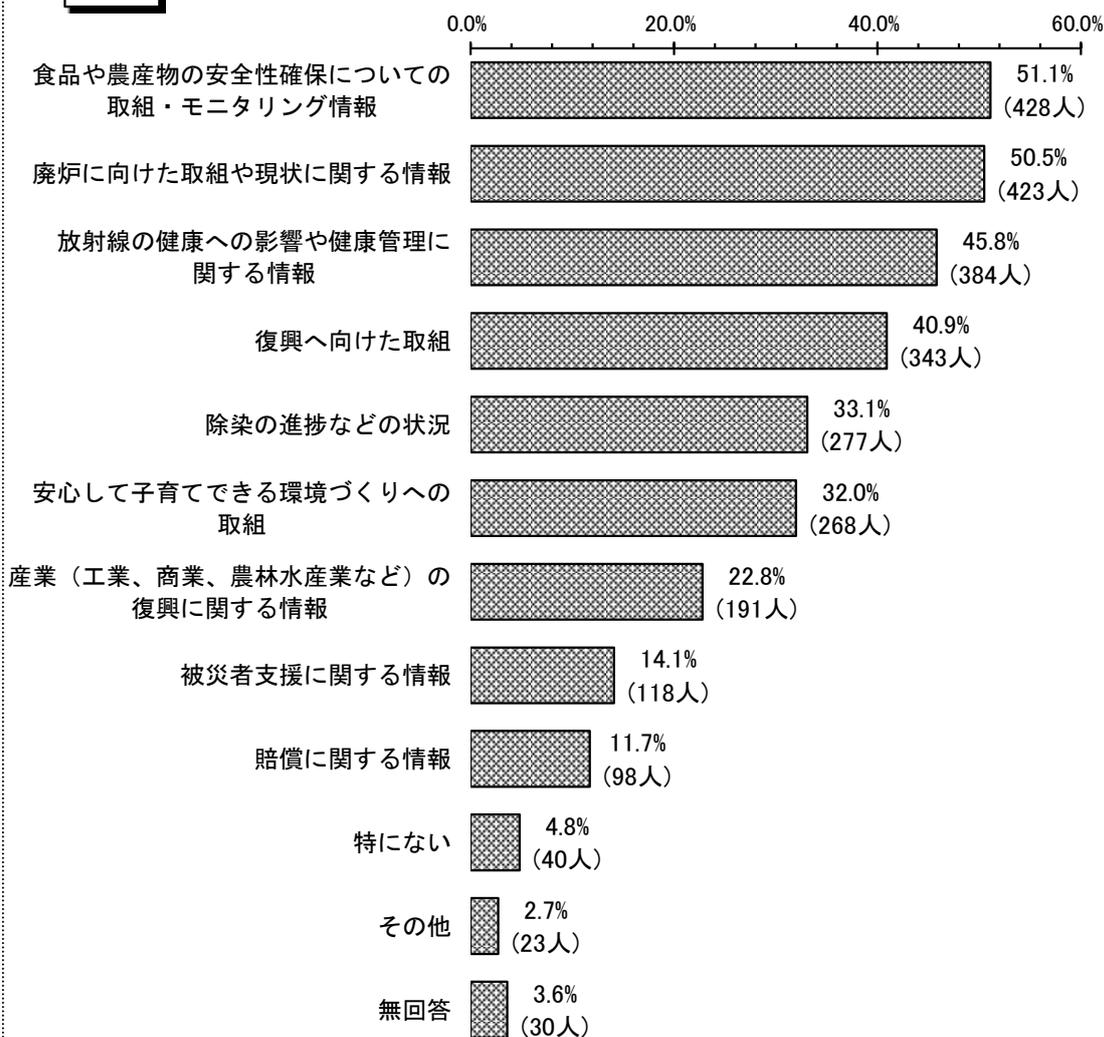


1. 復興等に関する情報発信について

(1) 震災・原発事故や復興について知りたい情報

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

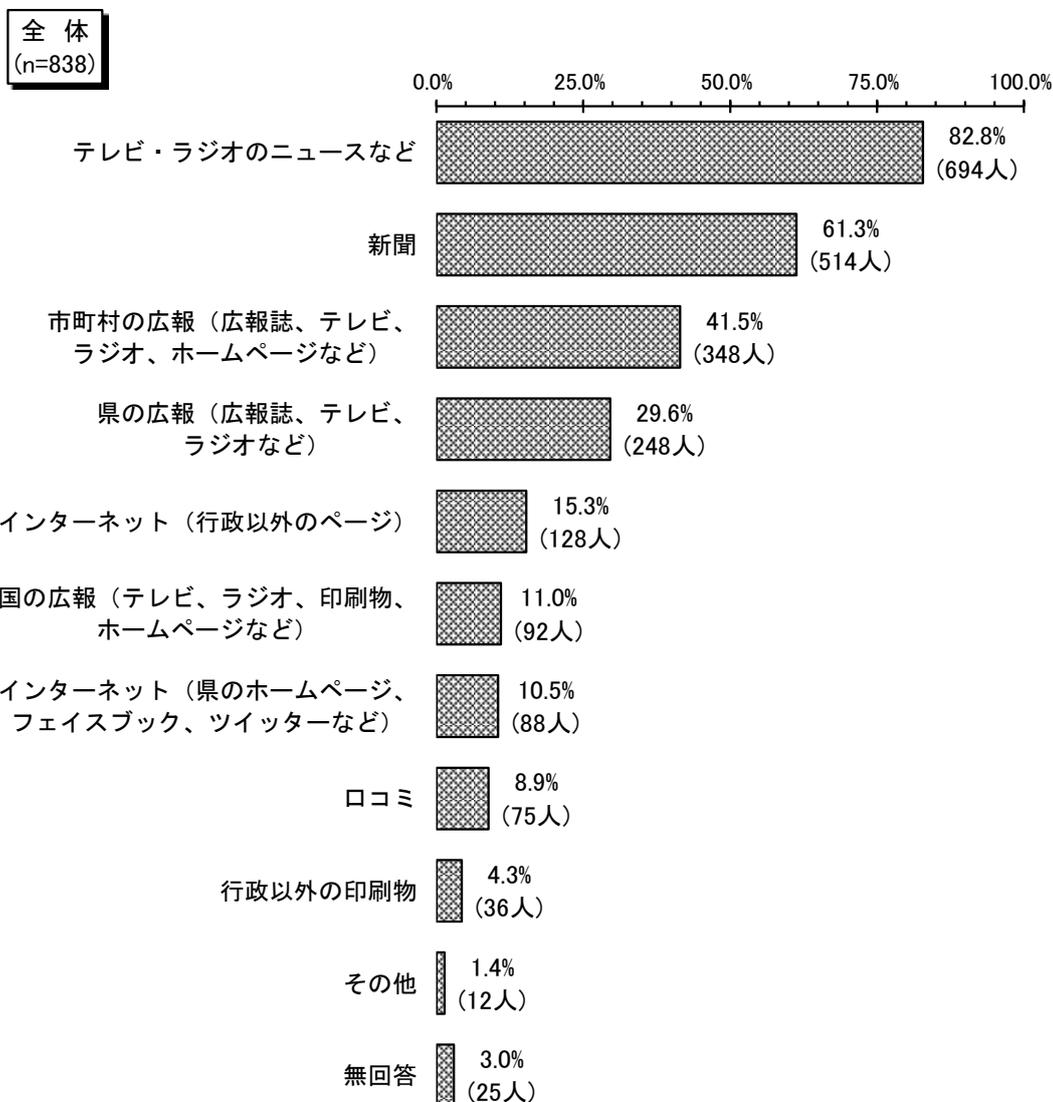
全体
(n=838)



震災・原発事故や復興について知りたい情報は、「食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報」(51.1%)と「廃炉に向けた取組や現状に関する情報」(50.5%)が約半数を占めている。以下、「放射線の健康への影響や健康管理に関する情報」(45.8%)と「復興へ向けた取組」(40.9%)が4割台、「除染の進捗などの状況」(33.1%)と「安心して子育てできる環境づくりへの取組」(32.0%)が3割台などとなっている。

(2) 復興状況や新しい取組に関する情報の入手先

問2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については主に何で入手していますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



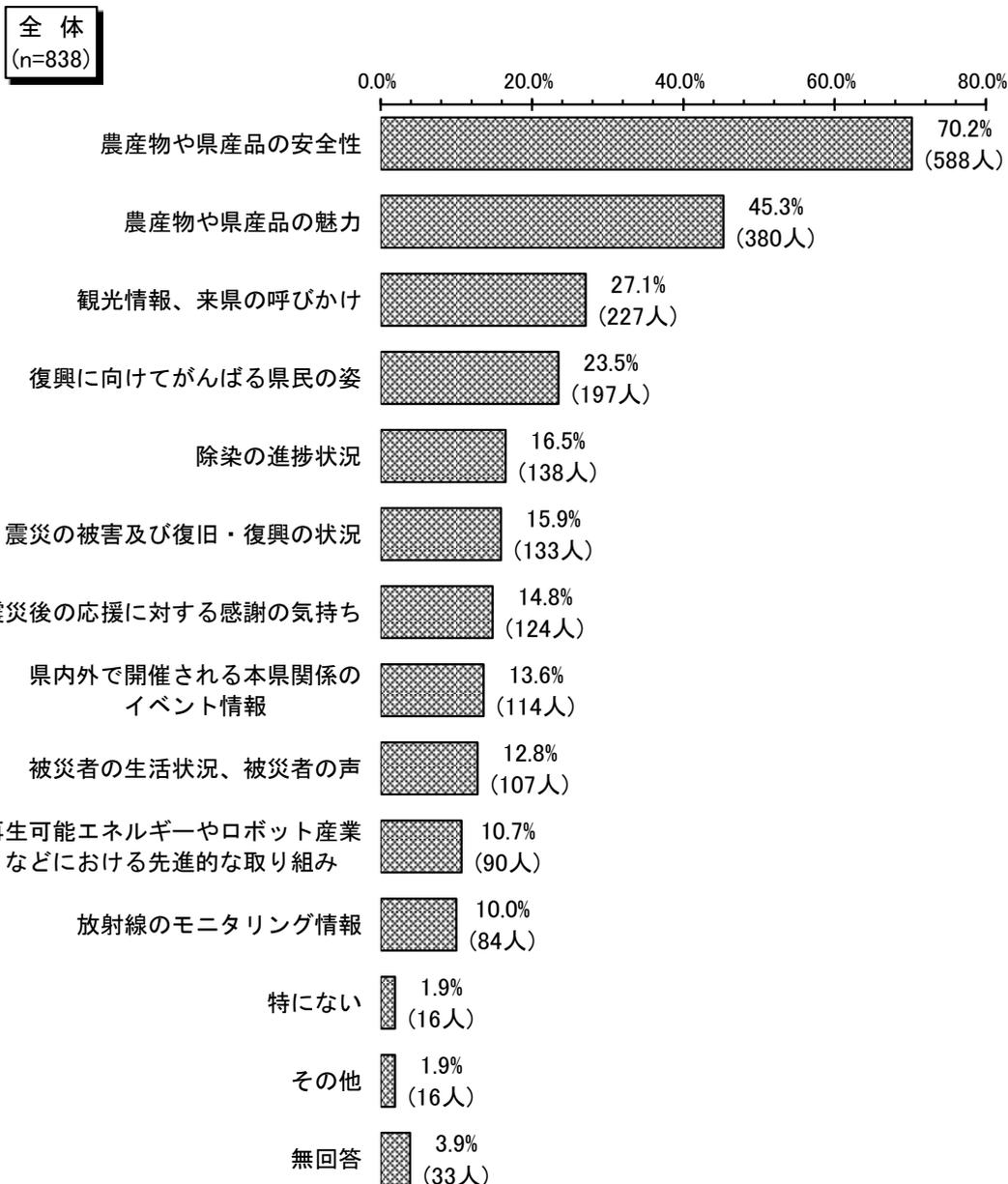
復興の状況や新しい取組に関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオのニュースなど」(82.8%)が最も多く、8割強を占めている。以下、「新聞」(61.3%)が約6割、「市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）」(41.5%)が約4割、「県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）」(29.6%)が約3割などとなっている。

福島県の広報活動に「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足している』計の割合をみると、〈イ 新聞『県政特集（福島民報・福島民友）』〉（53.1%）が最も多く、過半数を占めている。以下、〈ア 広報誌『つながる ふくしま ゆめだより』〉（47.1%）が半数弱、〈ウ テレビ『キビタン GO!（福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58）』〉（29.1%）が約3割、〈エ テレビ『ふくしまチャレンジ情報館（福島中央テレビ：毎週土曜日 20:54～20:57）』〉（27.2%）が3割弱などとなっている。

一方、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせた『満足していない』計の割合は、〈ア 広報誌『つながる ふくしま ゆめだより』〉（19.6%）が約2割で最も高くなっている。次いで、〈イ 新聞『県政特集（福島民報・福島民友）』〉（17.4%）が2割弱で続いている。以下、〈ウ テレビ『キビタン GO!（福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58）』〉（12.6%）、〈エ テレビ『ふくしまチャレンジ情報館（福島中央テレビ：毎週土曜日 20:54～20:57）』〉（12.3%）などとなっている。

(4) 福島県の現状について県外に伝えたいこと

問4 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



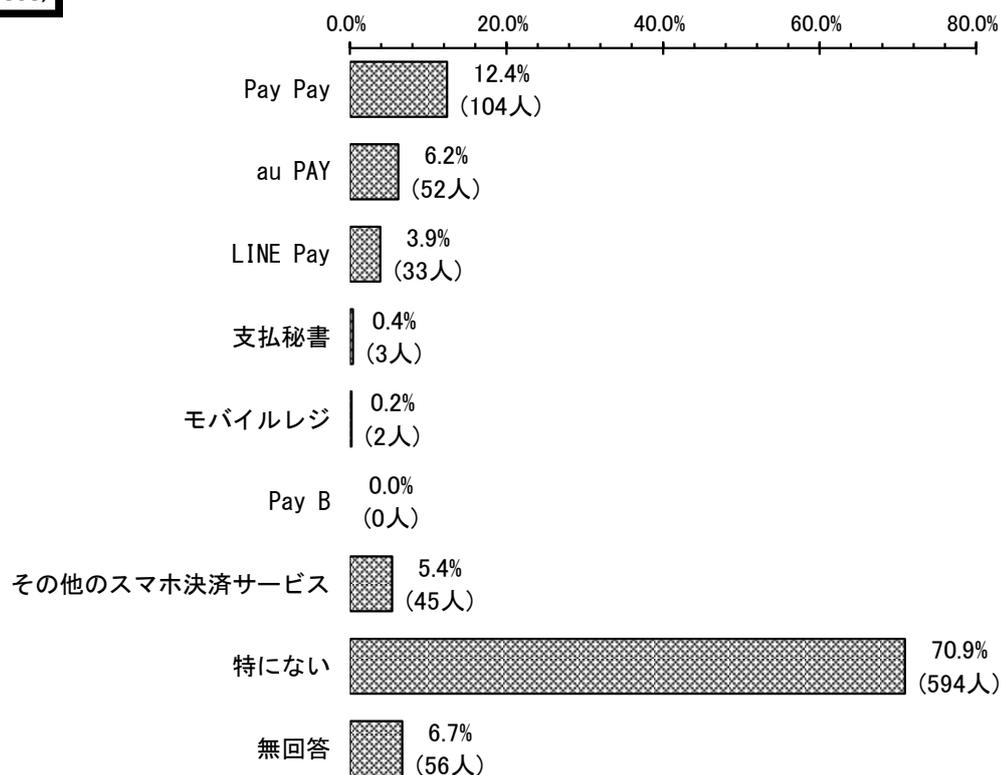
福島県の現状について県外に伝えたいことは、「農産物や県産品の安全性」(70.2%)が最も多く、約7割を占めている。以下、「農産物や県産品の魅力」(45.3%)が半数弱、「観光情報、来県の呼びかけ」(27.1%)が3割弱、「復興に向けてがんばる県民の姿」(23.5%)が2割強などとなっている。

2. キャッシュレス決済サービスの利用について

(1) 利用しているスマホ決済サービス

問5 スマートフォンなどのアプリケーションを使用し、QRコード（バーコード含む）を読み取ってキャッシュレス決済を行う、いわゆる「スマホ決済サービス」について、利用しているものにもいくつかOをつけてください。

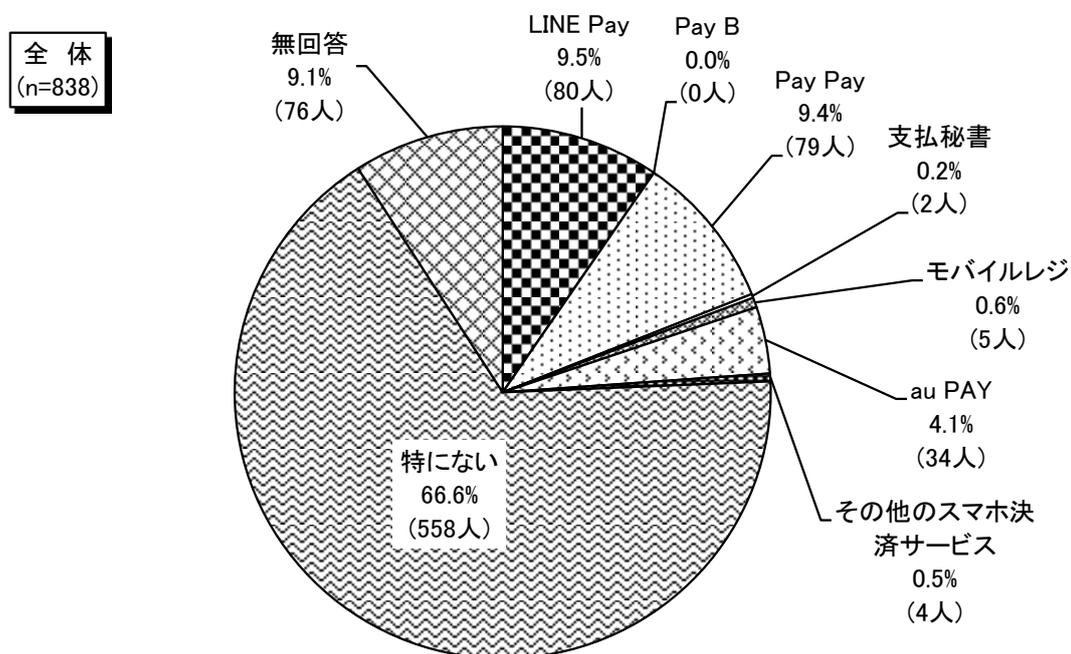
全体
(n=838)



利用しているスマホ決済サービスは「特にない」（70.9%）が突出して多く、約7割を占めている。以下、「Pay Pay」（12.4%）が1割強、「au PAY」（6.2%）、「LINE Pay」（3.9%）などが1割以下となっている。

(2) 利用してみたいスマホ決済サービス

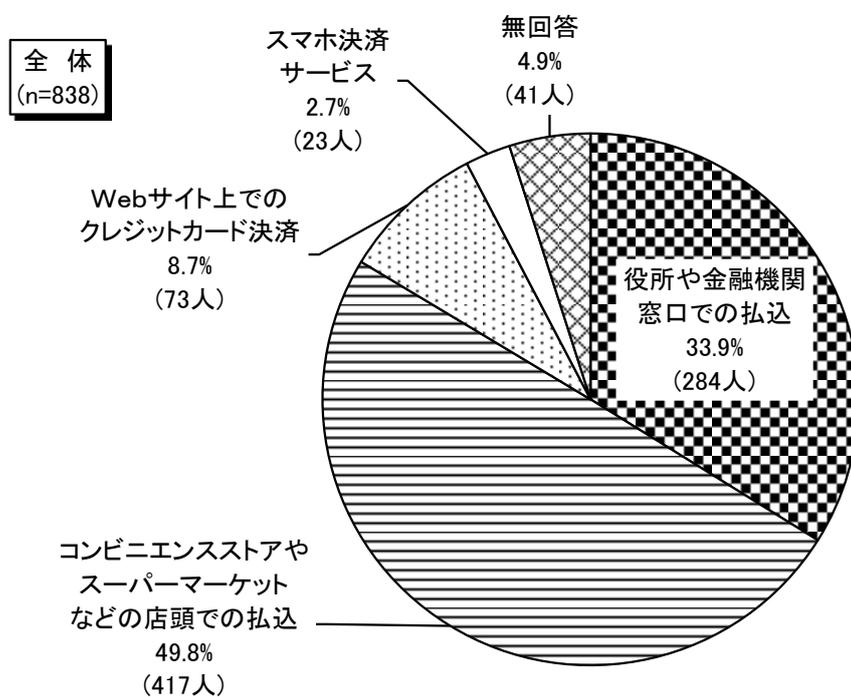
問6 今後、機会があれば利用してみたいと思うものがあれば、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。



利用してみたいスマホ決済サービスは、「特にない」(66.6%)が最も多く、7割弱を占めている。次いで、「LINE Pay」(9.5%)と「Pay Pay」(9.4%)が約1割で拮抗している。

(3) 公共料金や税金の支払い方法

問7 公共料金や税金の支払いをする際、今のあなたの生活スタイルに最もあてはまるもの1つに○をつけてください。



公共料金や税金の支払い方法は、「コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどの店頭での払込」(49.8%)が最も多く、約半数を占めている。以下、「役所や金融機関窓口での払込」(33.9%)が3割強、「Webサイト上でのクレジットカード決済」(8.7%)が約1割、「スマホ決済サービス」(2.7%)が1割以下で続いている。

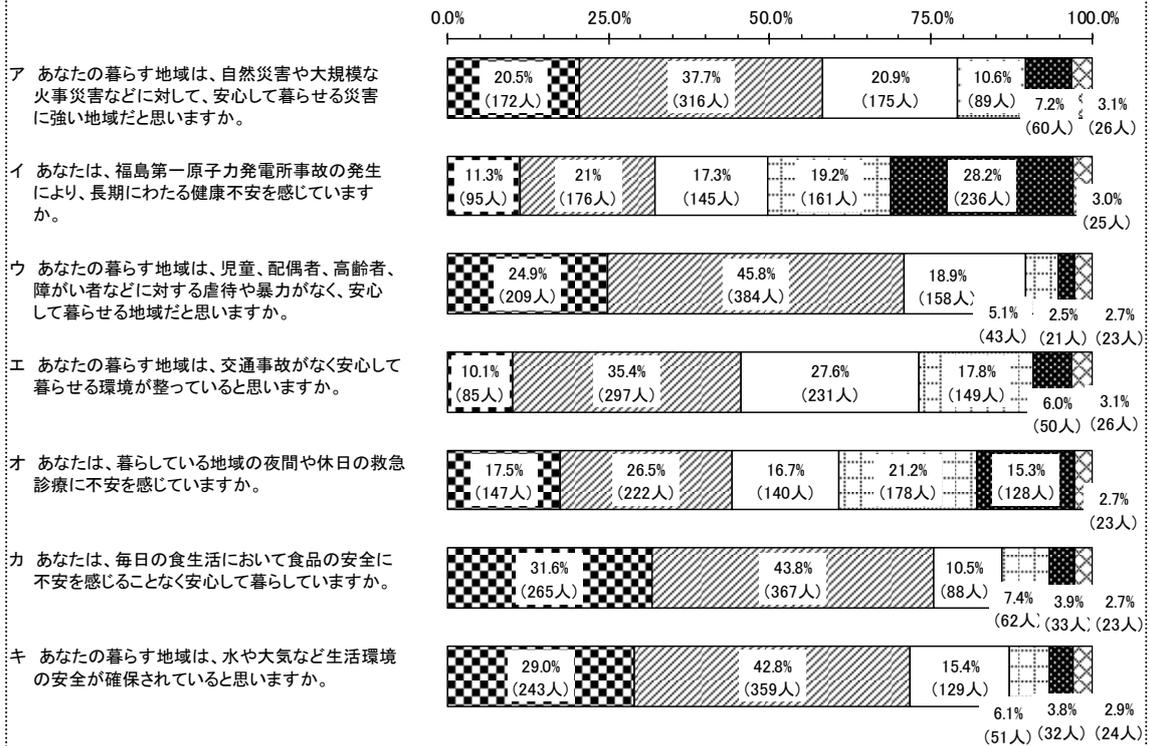
3. 安全で安心な県づくりについて

(1) 地域の安全・安心についての評価

問8 次にあげたア～キの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

全体
(n=838)

- はい
- どちらとも言えない・該当しない
- いいえ
- どちらかと言えば「はい」
- どちらかと言えば「いいえ」
- 無回答



「はい」と回答した人の割合をみると、〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉(31.6%)が最も高くなっている。以下、〈キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉(29.0%)、〈ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉(24.9%)などとなっている。

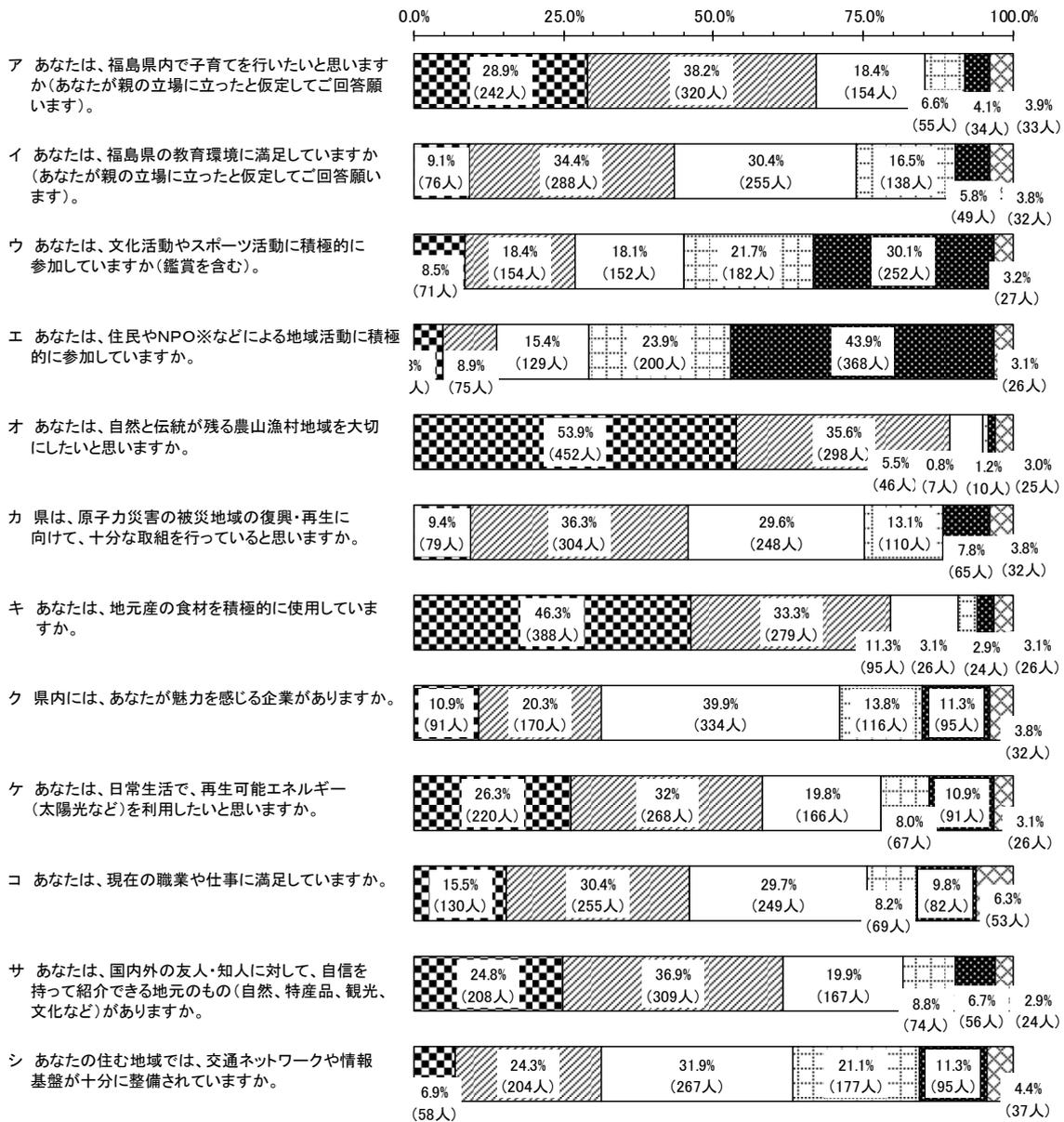
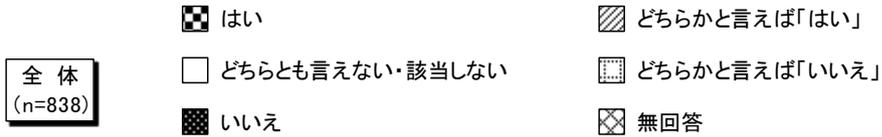
「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉(75.4%)が最も高く、8割弱を占めている。以下、〈キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉(71.8%)と〈ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉(70.7%)が約7割、〈ア あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。〉(58.2%)が約6割、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。〉(45.5%)と〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉(44.0%)が4割台、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉(32.3%)が3割強で続いている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉(47.4%)が最も高く、半数弱を占めている。以下、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉(36.5%)が4割弱、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。〉(23.8%)が2割強などとなっている。

4. 県総合計画について

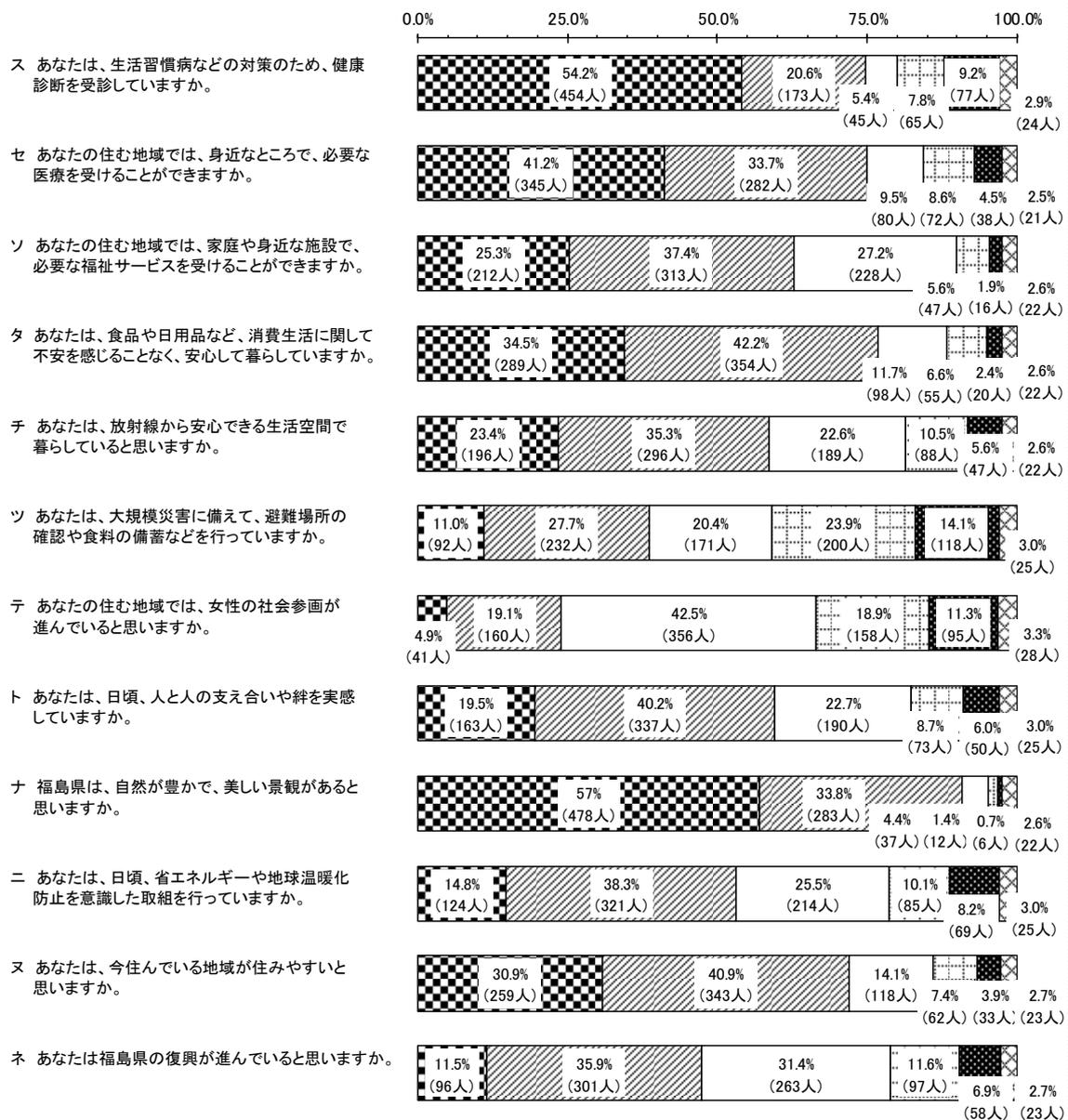
(1) 福島県の現状についての評価

問9 次にあげたア～ネの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。



全体
(n=838)

- はい
- どちらとも言えない・該当しない
- いいえ
- どちらかと言えば「はい」
- どちらかと言えば「いいえ」
- 無回答



「はい」と回答した人の割合は、〈ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観があると思いますか。〉(57.0%)が最も高く、6割弱となっている。次いで、〈ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(54.2%)と〈オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(53.9%)が過半数を占めている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観があると思いますか。〉(90.8%)と〈オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(89.5%)が高く、約9割を占めている。以下、〈キ あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。〉(79.6%)、〈タ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。〉(76.7%)、〈セ あなたの住む地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。〉(74.9%)、〈ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(74.8%)、〈ヌ あなたは、今住んでいる地域が住みやすいと思いますか。〉(71.8%)が7割台、〈ア あなたは、福島県内で子育てを行いたいと思いますか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。〉(67.1%)、〈ソ あなたの住む地域では、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができますか。〉(62.7%)、〈サ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの(自然、特産品、観光、文化など)がありますか。〉(61.7%)が6割台などとなっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈エ あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。〉(67.8%)が最も高く、7割弱を占めている。以下、〈ウ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。〉(51.8%)が約半数、〈ツ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。〉(38.0%)が約4割などとなっている。

※【参考】NPO 特定非営利活動法人とは

特定の公益的・非営利活動を行うことを目的とする法人のこと。